文教福祉

◇議案第3号
八街市障害福祉サービス事業所の設置及び管理に関する条例の制定について

問　**施設運営についてのチェックシステムについて伺う。**

答　指定管理者制度が導入された場合には、毎年契約された法人と年間の予定や方針の提出のほか、収支の報告をしていただくこととなります。

反対討論　精神障がい者の就労支援施設を立ち上げることは、たいへん歓迎するものであります。しかし民間のノウハウの活用やコスト削減を理由に、住民の福祉の増進を目的とする福祉施設の管理運営を、営利を目的とした民間企業に委託することは、自治体の公的責任の放棄であり、住民サービス、住民福祉の切り捨てであり、納得いきません。

福祉施設の管理運営はあくまでも自治体が責任を持つべきであり、営利目的の企業に託すことはふさわしくないことを指摘し、反対いたします。

賛成討論　民間の柔軟な対応、またそのノウハウにより専門性をもった方に事業を行っていただくことにより、八街市の精神福祉の向上に一歩前進いたします。佐倉市等、他の市町村では、この指定管理者制度により、成功しているとの事例もお聞きしております。よって、私は、この条例の制定について、賛成いたします。

> **障がい者就労支援事業所**
>
> 障がいがあるために一般企業での就労が困難な人に働く場を提供し、知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。

◇議案第10号
平成22年度八街市学校給食センター事業特別会計補正予算について

問　**平成20年度から22年度の調理業務委託はどうであったのか伺う。**

答　この3年間、実質的には調理だけの委託であり、これまで特にトラブルはございません。

反対討論　子ども達の食の教育は、保護者、栄養職員、調理員、教職員、地域が密接なコミュニケーションを持って取り組むことが必要です。調理業務の民間委託は、食育を実践していく上でもそぐわず、学校給食の本来の目的、果たすべき役割を損ねてまで合理化するのは本末転倒であると言わざるを得ません。また現在行われている調理業務委託は、事実上の偽装請負となっていることは、避けがたいこととなっております。

この調理業務委託をやめ、第二調理場のように直接雇用にすることを求めて反対するものであります。

賛成討論　業者委託ということになりまして、課題はあるものの、八街は特別方式というか、ほぼイニシアチブを市の方でもちながら、栄養士を中心においしい給食のためがんばってきております。給食について子どもや保護者にいかがなものか聞いてまいりましたが、特に大きな問題もなくおいしい給食をいただいているということで、業者委託となっても安心で、問題も大きくないと解釈しております。

経済建設

◇議案第5号
平成22年度八街市一般会計補正予算のうち経済建設常任委員会付託分について

問　**道路橋りょう総務費のうち、道路管理費の道路維持管理業務について、街路樹の剪定の場所はどこであるか。また毎年行っているのか伺う。**

答　泉台地区のイチョウの剪定であります。毎年ではありませんが、電線等にかかってきており、またあまり葉が茂ると防犯上よろしくないという観点から、強めの剪定をするものです。

問　**道路橋りょう総務費のうち、道路境界確定費について、この補正予算でどのぐらいの測量ができるのか伺う。**

答　これから工事を発注する中で、何カ所か部分的に境界が決まっていないことから、これに関する測量費であり、工事をスムーズに進めることにより市民の負託に応えるため今回補正をお願いしたものです。

問　**土地区画整理費のうち、電線類地中化整備工事は、まだ残っているのか伺う。**

答　今回の工事箇所につきましては、市役所前の市道224号線が延長25メートルであり、これでこの市道につきましては終了します。

残りにつきましては、国道409号の歩道整備を行い、歩道の中に電線化工事が行われます。残りの延長といたしまして、今年度工事分を除きますと、約160メートル前後が残るのではないかと思われます。

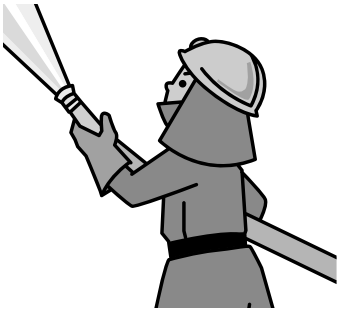
問　**八街駅北口の開発費は、事業費で何％ほど残っているのか伺う。**

答　工事や換地等の作業がありますが、今後の事業費といたしまして、約1億円程度ではないかと考えております。

問　**住宅管理費のうち、住宅維持管理費について、市営住宅地上デジタル放送受信状況調査に関して、市営住宅のため、集中アンテナに取り替える予定はないのか伺う。**

答　現在調査をして、来年度に間に合わせるような形で行いますが、集中アンテナで行うようになると思われます。現在は建てた当時のUHFアンテナがありますので、その調査を行うものです。

◇議案第11号
平成22年度八街市水道事業会計補正予算について

問　**消火栓の修繕工事について、何カ所の修繕箇所があるのか伺う。**

答　本年度は、消火栓の修繕工事を9カ所、実施したところであります。安全確保のために消火栓の維持管理は重要であると考えているところであり、今後も、消火栓の修繕箇所が見込まれ、予算に不足が生じることにより補正をお願いしようとするものです。